

酒パブリックリサイクル促進協議会 便り

Vol.17 平成28年12月15日 発行 発行：酒パブリックリサイクル促進協議会



酒パブリックリサイクル促進協議会 第28回情報交流会「水俣会議」

平成28年10月26日(水)熊本県水俣市の「湯の児海と夕やけ」コンベンションホールに於いて、23団体・企業43名の参加を得て、第28回酒パブリックリサイクル促進協議会情報交流会を開催いたしました。今回は5月の震災からの復興に県を上げて取り組んでいる熊本を訪問、日本の環境首都を謳う水俣市での開催となりました。熊本国税

「環境モデル都市」水俣市の「取り組み」と題して水俣市福祉環境部環境政策室の中村室長にゼロ・ウェイストのまち



熊本国税局 酒類業調整官・板橋和徳氏

会議では、事務局からの活動報告および調査・広報の各専門部からの報告に続いて、



亀井会長

局からは板橋酒類業調整官・稲田酒類業担当官のお二方を招き、地元九州地域からは会員およびオブザーバーを併せ9社22名の参加がありました。



水俣市 中村環境政策室長

また翌日見学を予定している水俣エコタウンの田中商店、田中専務から「九州の酒パブリックリサイクル」について、自社の事業ならびに九州の現状に関してお話しいただきました。



田中商店 田中専務

さらに初めてご参加の地元企業の参加者には、それぞれ自社の取り組み等をご紹介いただき、講演に対する質疑ほか活発な意見交換を行いました。

酒パブリックリサイクル促進協議会 組織体制

会長 亀井 慶承 (日本酒造組合中央会)	副会長 西村 善彦 (霧島酒造)	副会長 土肥 健児 (大関)	副会長 阿部 賢治 (オエノンホールディングス)	副会長 植松 正浩 (盛田)	副会長 伊藤 順 (中笠酒造)	副会長 岡本 直久 (印刷工業会・凸版印刷)	副会長 小柳 見 (小山本酒造)	副会長 國弘 武嗣 (印刷工業会・大日本印刷)	副会長 小島 泰弘 (月桂冠)	副会長 中尾 雅幸 (宝酒造)	副会長 長野 壮一 (三和酒類)	副会長 古川 浩正 (白鶴酒造)	副会長 村田 昭博 (日本盛)	副会長 木内 真二 (日本酒造組合中央会)	副会長 岩村 泰造 (印刷工業会)	副会長 和田志津子 (西田)	副会長 西田 克彦 (集めて使うリサイクル協会)	副会長 中尾 雅幸 (宝酒造)	副会長 中尾 雅幸 (宝酒造)	副会長 國弘 武嗣 (大日本印刷)
----------------------------	------------------------	----------------------	--------------------------------	----------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------	-------------------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------------	-------------------------	----------------------	--------------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------

●酒パブリックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|
| 1 日本酒造組合中央会(東京都) | 14 沢の鶴株式会社(兵庫県) | 26 印刷工業会(東京都) |
| 2 雲海酒造株式会社(宮崎県) | 15 三和酒類株式会社(大分県) | 27 石塚硝子株式会社(東京都) |
| 3 オエノンホールディングス(東京都) | 16 高千穂酒造株式会社(宮崎県) | 28 大日本印刷株式会社(東京都) |
| (合同酒精・福徳長酒類
・富久娘酒造 他) | 17 高橋酒造株式会社(熊本県) | 29 東京製紙株式会社(静岡県) |
| 4 大口酒造株式会社(鹿児島県) | 18 宝酒造株式会社(京都府) | 30 凸版印刷株式会社(東京都) |
| 5 大関株式会社(兵庫県) | 19 辰馬本家酒造株式会社(兵庫県) | 31 日本製紙株式会社(東京都) |
| 6 関西ボトリング株式会社(兵庫県) | 20 中笠酒造株式会社(愛知県) | 32 日本テトラパック株式会社(東京都) |
| 7 菊正宗酒造株式会社(兵庫県) | 21 日本盛株式会社(兵庫県) | 33 ビーエフ&パッケージ株式会社(東京都) |
| 8 黄桜株式会社(京都府) | 22 白鶴酒造株式会社(兵庫県) | 34 紙製容器包装リサイクル推進協議会(東京都) |
| 9 霧島酒造株式会社(宮崎県) | 23 平喜酒造株式会社(岡山県) | 35 一般社団法人全国清涼飲料工業会(東京都) |
| 10 月桂冠株式会社(京都府) | 24 伏見清酒パック協同組合(京都府) | 36 株式会社トベ商事(東京都) |
| 11 小西酒造株式会社(兵庫県) | (北川本家・齋藤酒造・招徳
酒造・玉乃光酒造・鶴正酒
造・豊澤本店・都鶴酒造・
山本勘蔵商店・山本本家) | 37 大和板紙株式会社(大阪府) |
| 12 株式会社小山本家酒造(埼玉県) | 25 盛田株式会社(愛知県) | 38 株式会社日誠産業(徳島県) |
| 13 薩摩酒造株式会社(鹿児島県) | | 39 コアレックス信栄株式会社(静岡県) |
| | | 40 株式会社田中商店(熊本県) |

〈参加数:40団体・企業〉

事務局:特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 (大阪府)

「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費: 1口 50,000円 (口、 円)

年会費は、紙パック酒出荷数に応じて下記のように設定しています。(平成28年3月改訂)

- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本未満 1口 50,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本以上1,000万本未満 2口 100,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、1,000万本以上 5口 250,000円

※なお、酒造メーカー以外の会員様の年会費は、1口 50,000円です。

記入日		
会社名・団体名		
所属・役職名		
担当者名		
住所	〒	
電話・FAX番号	TEL	FAX
メールアドレス		

*FAX(06-6271-8666)でお申し込みください。追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。ご不明な点がございましたら、事務局:集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会
事務局:NPO法人 集めて使うリサイクル協会
大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル9階
TEL 06-6271-8665 FAX 06-6271-8666

活動報告

大手企業の特例子会社による酒パックリサイクル事業の動向

増える特例子会社の紙漉き事業

先に活動しているリクルートやNNTに見られるように、自社グループの特例子会社が酒パックを原料とした手漉き製品を生産して販売する事業に乗り出すところが増えてきています。



リクルートスタッフィングクラブ(埼玉県)

紙漉きは、特に大きな機械設備もいらず、障害のレベルに合わせた作業が出来、つくられる再生紙の名刺やカレンダー等はグループ内で使用できるということから、障害者雇用の一つの形として近年特例子会社の紙漉き事業の報道が時折見られるようになってきました。



紙好き交流センター(大阪府)
全国の福祉作業所や特例子会社に対して、技術指導や、設備の供給を行っている。



NTTクラリティ(山梨県)

ANAグループでは、10月宮崎市に「ANA青島フアクトリー」を開業、紙漉き事業をスタートさせました。また川崎重工業グループでは、「川重ハートフルサービス」が本年度中に神戸市で紙漉き事業をスタートさせる予定です。

それぞれ地元元の酒造メーカーに対して、協力をお願いなどに来られています。酒パックが製紙原料として活用され、障害者の仕事づくりに役立つことは私どもの活動にとっても有難いことです。

各地で可能な協力と同時に、共に酒パックリサイクルを推進すべく活動したいと思えます。

酒パック再生紙管パネルを使った取り組み

「エコの学校」2016年

- 神戸開催 7月29日(金) 於こうべ環境未来館
 - 京都開催 8月3日(水) 於京エコロジセンター
 - 東京開催 8月5日(金) 於えこつくる江東
 - 名古屋開催8月10日(水) 於エコバルなごや
- 《宝酒造》

神戸市、京都市、東京都江東区、名古屋市の4都市で各2回、計8回実施しました。参加者は、全体で約2000人でした。



「エコの学校」の様子(宝酒造)

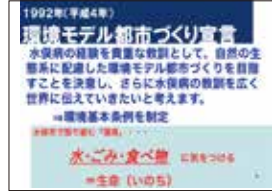


「エコの学校」授業と紙すき体験の様子(宝酒造)

環境モデル都市みなまた



水俣市福祉環境部 環境課 環境政策室 室長 中村俊彦氏



中、水俣市の中村環境政策室長にご講演いただきました。 「水俣病」により環境が破壊されたまちから「水俣病」をプラスの資産として、環境で街を再生すべく環境モデル都市づくり宣言を行い、ごみや資源の21分 別ほか市民と一緒に取り組む活動と「環境首都みなまた」への展望を語っていただきました。



九州の酒パックリサイクル



株式会社田中商店 専務取締役 田中利和氏



びん商として熊本市でスタートした田中商店が、水俣エコタウンに進出。古紙リサイクル事業を含め田中商店が展開する6Rの活動について、翌日の見学会に先立つてその取り組みをお話しいただきました。

酒パックリサイクルに関しては、まだ九州地区全体をカバーしきれていないもののびん商としての繋がりによる酒造メーカーとを生かし工場損紙を回収、酒造メーカー向けのオリジナル再生トイレットペーパーを開発、販売しています。



酒パックリサイクル促進協議会 九州地区見学会

10月27日(木)酒促進協のメンバー34名が参加し、会員企業でもある熊本県水俣市の「田中商店」と鹿児島県伊佐市「大口酒造」を見学させていただきました。

株式会社田中商店 熊本県水俣市浜松町/塩浜町

水俣エコタウンにある2箇所のリサイクル施設を見学しました。まず最初は塩浜町にある古紙リサイクル施設。回収された酒パックがプレス



浜松町の施設では、機械や目視による厳密なチェックを経て洗い瓶として再利用されていくびんの洗浄工程を見学。その他田中商店の6R活動

のひとつ、リメイクとしてのガラス工芸製作用の炉などを拝見しました。

また施設の中に一般市民向けの資源回収ボックスが用意されており、見学中にも外部から車で持ち込んでこられた方が見受けられました。



大口酒造株式会社 鹿児島県伊佐市大口原田/伊佐市菱刈田中

豊かな緑広がる伊佐盆地のなかにある第二蒸留所を最初に見学させていただきました。



第二蒸留所では、まず原料となるサツマイモの処理から、粉砕したサツマイモに二次モロミと水を加えた「二次仕込み」そして蒸留・熟成までの工程を行っています。

この伊佐地方の清流と寒冷な気候などの恵まれた自然環境の中で生み出される焼酎「伊佐錦」の製造工程をしっかりと案内いただきました。

またパック詰めを行う本社工場では、リサイクルしやすいように工場損紙のキャップ部分と底部分を切断する様子など、独自の取り組みもご紹介いただきました。



information

「酒促進協」循環システム推進ネットワークの動き

酒パックリサイクル促進協議会では、循環システム推進ネットワークを地区別に構成して、定期的酒促進協議会とは別にそれぞれの地域に即した取り組みを行うべく、各地で地域の会員企業とのネットワークを生み出していこうということになりましたが、早速灘地区で白鶴酒造古川氏が動いてくれました。

先月の灘地区の資材担当者の会合やお客様相談室の会合の機会を活用して、酒促進協の活動について伝えていただき、意見交換を行っていただきました。酒促進協の担当者だけでなく各社に広く活動が伝わり理解されることで、地域の循環システムがより円滑に進むと考えられますし、新しいメンバーの開拓にもつながるものと思います。是非各地であらゆる機会をとらえて酒パックリサイクルの輪を広げていってください。(事務局)